



2023年度 年主題 <ともにつむぎだす ~希望の中で~>

0歳児4月主題「はじめまして」
1・2歳児「であう」
 月のねがい
 ◎神さまからお預かりしている大切な存在として育まれる (0)
 ◎初めての場所や人と出会う (0)
 ◎春のひびしや風に心地よさを感じる (0)
 ◎保育者の祈りや賛美を聞き、心地よさを感じる (1.2)
 ◎であいやつながらりの中で安心して過ごす (1.2)
 ◎春の自然にであって喜ぶ (1.2)

3・4・5歳児4月主題 「よろしくね」
 月のねがい
 ◎保育者と祈り、賛美する中で見えない神さまを知る (3)
 ◎新しい生活の中で信頼できる人とつながっていく (3)
 ◎自分が大切にされていることを感じて安心する (3)
 ◎神さまの愛に包まれていることを感じながら、安心して新しい生活を始める (4.5)
 ◎であいへの期待、不安などありのままの姿が受け止められ、好きな遊び、場所、人を見つける (4.5)
 ◎身近な自然 (草花、虫、種まきをするなど) を感じ、美しさ、おもしろさに気づく (4.5)



今年もにぎやかにスタート!

広い園庭にはダンゴムシにてんとう虫、色とりどりの花が咲いて春の訪れを感じます。子どもたちも花壇の石をひっくり返して、「いたいた！」とダンゴムシ探しに夢中です。

4月になり新しいお友だちもたくさん加わり、小さいクラスは涙、涙の大合唱の中、慣らし保育初日を迎えました。抱っこされ、おやつを食べて少しずつ涙が止まる時間も見られるようになってきました。在園のお友だちは一つずつ大きくなり、嬉しそうな表情の子、照れ笑いを浮かべる子、ついつい前の保育室に走っていく子も…だんだんと慣れて羽が生えたように自由に走り回って、先生たちと追いかけてこしている姿がほほえましく思います。新しいクラスになり、ちょっぴり背伸びもして緊張気味の子もたくさんです。子どもたちなりに新しい環境に慣れていこうと頑張っています。新しい環境でお父さんやお母さんと離れる時は、しばらく登園を渋る子もいることと思いますが、元気に「行ってらっしゃい」と見送ってあげてください。そして帰ったらぎゅ〜と抱きしめてあげることが、一番子どもたちの心の充電をしてくれると思います。

4月は一年の大きな節目の時！園で子どもたちにお約束している「早寝・早起・き朝ごはん」を意識する良いタイミングだと思います。子どもの睡眠について以前研修に参加したので少し紹介をします。子どもの睡眠は脳を作り、育て、守る大事な働きがあります。ただたくさん寝れば良いだけでなく、より良い眠りにはポイントがあります。①寝る時間(夜の7時から朝の7時)②眠りの持続時間(途中で起きることなく10時間程度の夜の睡眠時間)③眠りのリズム(入眠と起床の時間が一定)この3つのそろった良い生活リズムは、子どもは自分で体内時計を作れないため、周りの大人が作ってあげなくてはなりません。太陽の光をたっぷり浴びて身体を動かし、夜はぐっすり、朝はすっきり目覚める(朝は自ら起きてくるのが望ましい！だそうです)。このリズムを少し意識して、生活習慣を整えて、一年間を元気いっぱい過ごしていきましょう！今年度もよろしく願います。 大河



今月の聖句 「わたしはよみがえりです。いのちです。」

ヨハネ 11:25

WBCで侍ジャパンが見事優勝の栄冠に輝きました。二刀流大谷翔平選手をはじめ、選手一人ひとりの活躍に私たちは感動を覚えました。それは国家の枠を超えて、世界に「野球」の素晴らしさを広めました。準決勝後の会見で、栗山監督が放った「野球ってすげえな」という言葉の中にそれが集約されていると思いました。

栗山監督は、不振の続いていた村上宗隆選手を使い続けました。「私は村上を信じる」と言った言葉が印象に残りました。と同時に、信じるということは、とてもエネルギーのいる、骨の折れる心の作業でもあると思います。けれども、だからこそ、信じるということに価値があります。準決勝9回裏、打席が巡ってきた村上選手のもとに城石コーチが近づきました。村上選手の脳裏には「バントか?」「代打か?」という思いがよぎったそうです。けれどもコーチが伝えたのは、監督の「思い切っていってこい!」という言葉でした。すると、村上選手はスイッチが入り、見事センターオーバーの逆転ヒットを打ちました。監督が自分のことを信じてくれたことを意気に感じ、その期待に応えたのです。

子どもたちにとって、親は最後まで自分のことを信じてくれる存在です。最後の砦です。成長する過程で人間関係にもまれ、嫌な経験をしながらも、自分を信用してくれている親を支えに生き生きと前を向いて歩けるようになります。信頼関係は人を大きく成長させるエネルギーとなります。そして、そこに活気溢れるいのちが生まれます。

西之表基督教会 協力牧師 池田基宣

4月の行事予定

8日(土)	入園式・クラス会(親子で降園)
13日(木)	田植え(予定)
15日(土)	役員会
22日(土)	親子遠足、父母会総会

5月の行事予定

9~19日	家庭訪問
11日(木)	4・5月誕生会
15~19日	フリー参観週間
16日(火)	交通安全教室
17日(水)	弁当日
20日(土)	不審者対応研修(休業依頼)
未定	前期内科検診



入園式



田植え



お母さんはきれいな空気のようにやさしい愛を一日じゅう注いでいることもはあたたかい空気のようにうれしい愛を一日じゅう吸っているどちらも気がつかずに

空気が河野進



交通安全教室



親子遠足



令和5年度新学期がスタートしました!

私たちが保育の中で大切にしたいもの

☆一人ひとりを大切に
 子どもたちは神さまから命を与えられ、愛されているかけがえのない存在です。その個性と人格をありのまま受け止め、尊重することが第一歩です。信頼関係を築くなかで、子ども自身が自分を信じ、自分らしい歩みをはじめることが出来るように、絶えず応援したいと思えます。

☆友だちっていいな!
 友だちと遊ぶなかで、子どもは自分と他者の違いを知っていきます。たくさんのぶつかり合いや葛藤を通して、悩み、考え、やがて理解し合い、"共に生きる"ことを学んでいきます。認め合い、力を合わせることの楽しさ、喜びを味わうまでの道筋を大切にしたいと思います。

☆神さまの恵みを知り、世界に目を向ける
 自然の美しさや不思議さに気づき、その恵みに感謝する心を育みます。けれども、世界に目を向けるとき、現実には人と自然との関係や、国と国との関係に多くの課題があります。人と自然との調和、世界の平和に、私たちがどう貢献できるのか、共に考え、祈り、やがて行動できる人になりたいと願います。

☆知りたい、やってみたい!!
 子どもが夢になって、生き生きと遊ぶ事は"生きる力"に繋がります。工夫したり、悩んだり、納得するまで繰り返す中で、思考力や騒動力そして、"意志"が育まれます。好奇心や探究心を大切に受け止め、子どもと共に心を動かしていきたいと願っています。

この花のように 美しい心を
 神さまください 小さなわたしにも
 この花のように 人々を愛せる
 心を下さい 小さなわたしにも
 幼児賛美歌Ⅱより

希望の中で ともに紡ぎ出す

心地よい春風が、白や赤に染まるツツジやアマリリスの花をそよがせています。木々や花々や遊具、そして園舎までもが、愛らしい子どもたちが来るのを楽しみにしているようです。ご入園、ご進級おめでとうございます。改めて続くご縁と新しいご縁を心から感謝致します。子どもたちの健やかな育ちを皆さまと共に願ひ、祈りを重ねてまいりたいと思えます。

幼児教育・保育の指針となる幼保連携型認定こども園保育要領も平成三十年度に改訂・施行されてから五年が過ぎました。その基盤となる概念は、目に見える、分かりやすい(認知的)能力を促進していくことより、子どもの気持ちや意欲など、実態を掴みにくい能力(非認知的)を重視する方向にあります。まさにキリスト教保育の年間主題は、「大切に受け継いだ「見えないもの」に目を注ぐ」保育そのものではないかと思えます。本年度のキリスト教保育の年間主題は、「ともにつむぎだす」希望の中で」が示されました。「つむぐ」とは、綿や鮎繭からよりに生かされるという意味において、コロナ禍を通して変化をしながら、希望を持つ者でありたいと思えます。

本学園の建学の精神である「敬神愛人」「探求・感謝」には、人間形成の基礎を培うべく心を育てたいという願いが込められています。遠い将来の準備ではなく、幼いときにこそ経験しなければならぬものがあるのではないのでしょうか。子どもたちが自分で発見するモノや動植物たち。考えながら創り出していく遊びの数々。不思議だなど感じることも。明日もまたやりたいという意欲や探究心を何よりも私たちは守らなければなりません。そのために、保護者の皆さんにも、多くの場面で楽しんで関わっていただきたいと願っています。子どもの育ちには、「タイムケン・タンケン・タイムン」が必要だと考えています。保育活動や行事で味わう体験。未知の世界・興味・関心を寄せる探検。そして、少し大変なことにも挑戦する意欲。今年もこのキャッチフレーズでともに育つてまいりましょう。

集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものでしょう。初めての環境は大人でも緊張します。何より「だじょうぶだよ!」という言葉が安心へと導きます。「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」と聖書にあります。神さまが与えて下さるこの環境の中で、ともにつむぎだしながら生かされていることを喜べる生活を共に目指していきます。あるがままの"自分"をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と心を込めて寄り添っていきたく思います。十六年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参りますので、ご支援の程を宜しく願っています。

園長